

ズバリ 町政を問う（議員18人）

A **Q** **これから女性にとって働きやすい環境づくりは**

女性にとって働きやすい環境づくりを



松本秀治議員

● **松本** 少子化は切実な問題である。女性にとって働きやすい環境作り、安心して子ども

が産め、子育てできる地域社会の実現が求められている。今後、保育所の統廃合が行われようとしているが、保育所廃止予定地域の保護者には遠方への送迎により、小さい子どもを早く起こし、早く家を出ないと仕事に遅刻するなど、負担増となる。そこで、負担を軽減する支援を考え行政としての企業への支援と保護者の就労支援を行いう必要があると考える。また、学童保育は今後どのようにあるべきか？



保育風景

A **Q** **将来の環境衛生にどう取組か**

協会を通して国に要望した



松浦敬潤議員

はどうか。

■ **町長** ①受入貯水施設や前処理施設が必要
②周辺住民の理解が必要。

● **松浦** 公共下水道の終末処理場で、町内の尿処理をしてはどうか。全国では、100箇所以上の自治体の浄化施設で尿を処理している。「目的外使用」とか、「今の法のもとでは」など出来ない理由を並べる前に、国や県と交渉し可能性に向かってチャレンジして



完成まじかの終末処理場

■ **町長** これからの少子化対策の一つか、「女性にとって働きやすい環境づくり」と考えます。企業誘致など、就労の場の確保に取組む一方、世羅町商工会などと連携した様々な就労形態

の創設についての企業啓発や育児休業制度などの指導が重要であると考える。学童保育の今後は、児童に安心安全を確保する上でも施設機能の充実や指導員の確保など、課題が多くあるが前向きに対応したいと考える。

● **松浦** 公共下水道の健全化に向けては①補助率の増②下水道債の特別交付など地方交付税措置の拡充③地区外の汚水処理などが可能となる法制度の弾力化などが必要で下水道協会広島県支部を通じて、国に強く要望したところである。

Q 町財政の危機感は

A 厳しい予算編成である



中村幸雄議員

なくされており、国の政策に対する不信感も増幅している。財源確保については、定員管理の適正化や未利用公有財産の処分など行財政改革を実行し、国・県に対して、地方交付税の財源確保や地方消費税の配分率の見直しなど要望・提案を行っている。

●中村 危機的町財政の認識と財源確保にどのように取り組まれたのか。

■町長 每年基金（貯金）の取り崩しによる厳しい予算編成を余儀

Q 荒廃する山林は防げるか

A 再生に取り組んでいる



荒れる山林

づくり事業などにより、荒廃した人工林や里山林の下刈り・除伐・間伐を行い、保水能力の落ちた山林を健全な山林に再生してゆきたい。

●中村 松枯れが進行し、有害鳥獣の被害が拡大しているが、荒廃の危機にある山林の再生は。

Q 学校耐震化と生涯学習は

A 耐震化は推進してゆく



矢山 武議員

●矢山 四川大地震で学校の校舎がくずれた。我が国でも多くの施設の工事がいそがれるが本町の取組みは。また4月からの生涯学習の組みは。

●教育長 9施設で未診断であり、5年間での推進の通知があり、検討する。

生涯学習推進計画により、合同事業など二つに対応した展開をしでゆく。

Q 農業後継者の育成は

A い交付金、直払の拡充で



耐震調査がまたれる小学校

Q 障害者福祉と国保税の引下げは

A 七月より実施

Q 障害者福祉と国保税の引下げは

A 七月より実施

●矢山 社会保障が後退する時、障害者自立支援法による負担増の中で、対応をもとめる。安心してサービスが受けられるようになる。基金を使い国保税の引下げをする考えは。

■町長 負担上限を1／4まで下げ、7月から1／2になる。所得が世帯から本人になり軽減される。国保税については、現行の税率でゆくようになる。

●町長 稲作構造改革交付金が10a当たり3,461円であり、交付額は現状をみると不十分であるが、農業農村の再生のために、あらゆる機関に要望し、更に施策の充実が必要と考える。

Q

後期高齢者医療制度の不備は

A

広域連合へ要望



永田英則議員

●**永田** 後期高齢者医療制度がスタートで、大きな混乱が生じた。制度に潜むさまざまな問題点がおき批判的になつたので質問する。

①なぜ年金から「天引き」するのか。②保険料値上げは天井なしか。③保険料を滞納したら保険証を取り上げられるか。④病院から追い出しされるのか。⑤延命治療は切り切てるのか。⑥健診は行政の義務でなくなるのか。⑦問題点を国の方に要望の考えは。

■**町長** ①確実な納付のため年金から徴収。②医療費動向の変化生

活塞等把握し国で検討。③一年以上滞納すると資格証明書を交付。④病床数を確保することと在宅医療へシフトすることである。⑤凍結の方向で中央社会保健医療協議会で再検討中。⑥健康診断は努力義務です。⑦広域連合へ要望する。



A Q 占有使用を妨害する工作物設置のため仮処分(裁判)申請の理由は

●**永田** 旧世羅庄舍跡地の民地の使用賃借経過仮処分申請の理由又

申請後の実態は。

■**町長** 土地所有者に

作物を設置したため仮処分申請を弁護士と協議し行うこととした。申請後の経過は審理中であるので答弁出来ない。

●**豊田** 75歳を区切りとして保険料天引き、給付サービスの低下、差別的扱いをするお年寄りを不安に陥れる制度は許されない。①相

談や問い合わせは。②年寄りを「姥捨て山」になつてもよいのか。③不安多いこの制度は廃止すべきだ。

■**町長** ①保険証が届かないとか保険料について。②高齢者と若年者の負担の公平化、財政基盤の安定に寄与する。③広域連合と連携し、業務を執行したい。

Q

後期高齢者医療制度は廃止を

A Q 裁判は取り下げ話し合い解決を取り下げは審理中で控えたい

●**豊田** 町長は、町が借地していた民地の所

有者と、新しい借主を裁判所に仮処分申請し

をすべきではないか。現在536万円の予算だが本裁判では莫大な費用も掛かると思われるが。

■**町長** 占有使用を妨害する工作物を設置されたので、再三撤去をお願いしたが叶わず、

決定した。取り下げについては審理中で控えさせてもらう。



問題となっている民地

A **Q** 町内の無医地区をどうする

A 医師の確保とデマンド交通で

●仲行 町内の周辺部には無医地区が存在するが過疎化と高齢化が急激に進むなか、住民は地域医療の格差を実感している。この問題に直面しており整備課

■町長 対しはどう対処するか。

●小川 合併建設計画では津田地区に診療所を計画しているが現状では医師確保という課題に直面しており整備課

●仲行 レジオネラ菌の検出以来営業停止となっているが、プレルなどの利用者は早期の再開を望んでいる。西の観光の拠点であるこの町長としているのか。

●小川 宇津戸地区を覆う臭気公害、今期早々には、改善勧告を出すといいながらまだ聞けない。地域づくりに



仲行 洋議員

A **Q** 「クアパルク」はどうなるのか

A 修繕し早期の再開を目指す

態が発生しご心配、ご迷惑をおかけしたことに対しお詫を申しあげる。施設の老朽化が原因であり、今回、修繕、機械の更新をし、衛生管理を徹底し、早期に業務の再開を目指す。



三川地区診療所

■無医地区とは

医療機関のない地域で、当該地域の中心的な場所を起点として、概ね半径4kmの医域内に人口50人以上が居住している地域であって、かつ容易に医療機関を利用することができない地区をいう。



射撃場入口

は困難な状況である。今後は公立世羅中央病院の医師の充実を図り、医師会との連携を深め無医地区をカバーし得る医療体制の充実に努める。またデマンド交通システムによる医療機関への利用促進を図つてゆく。

Q 魅力ある学校づくりは統合だけか

●小川 地域全体を動かす事業を地域に求めようとしている。小規模校になつた経過を反省しないで今のやり方で地域住民の意見が集約されていると思うのか。

●教育長 住民の皆様には答申ができる予定である。

●小川 に説明し、一部地域では異論はありましたか。全体としては理解していただいていると思つている。よつて検討委員会に諮問した。11月には答申ができる予定である。

Q 障害児が安心して教育が受けれる体制を受ける

A 充実支援体制の努力



小川信晃議員

●教育長 特別支援教育は、必要に応じ介助員を配置。適切な指導支援をしている。校内委員会も定期的に開催し発達障害を含む障害児童の支援、弱視の児童の教科書もボランティアグループが作成、創意工夫し授業を行つて